B-MANU201594-02
M-MANU201158-02

I-O DATA WN-AG300EAシリーズ

取 扱 説 明 書

お買い上げ時のレシートや領収書は、ご購入日を証明するものです。大切に保管してください。詳しくはウラ面の【ハードウェア保証規定】をご覧ください。

各部の名称・機能 を覚えよう

前面

裏面

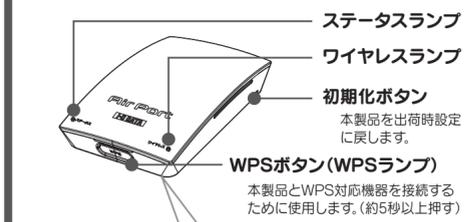
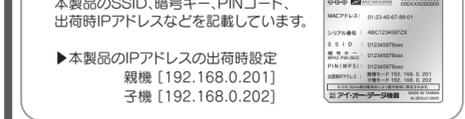
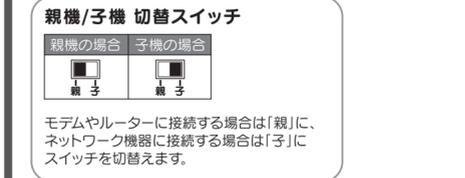
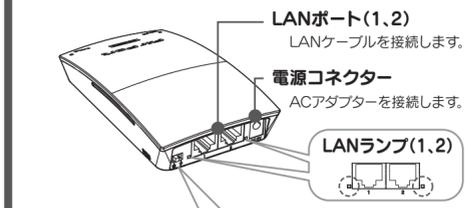
本製品のSSID、暗号キー、PINコード、出荷時IPアドレスなどを記載しています。

▶本製品のIPアドレスの出荷時設定
親機 [192.168.0.201]
子機 [192.168.0.202]

背面

親機/子機 切替スイッチ

親機の場合	子機の場合
親 子	親 子

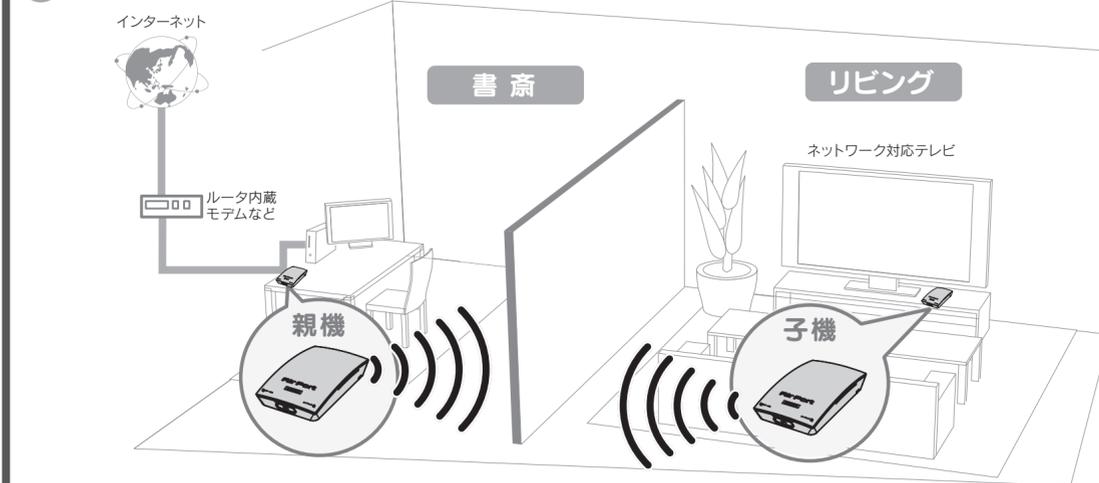
モデムやルーターに接続する場合は「親」に、ネットワーク機器に接続する場合は「子」にスイッチを切替えます。

ランプについて

ランプ	状態	概要
ステータス	点灯	電源ON
	点滅	初期化準備完了
	消灯	電源OFF
ワイヤレス(親機の場合)	青点灯	電波周波数帯域設定:5GHz帯※1
	橙点灯	電波周波数帯域設定:2.4GHz帯
ワイヤレス(子機の場合)	青点灯	電波強度:強い
	橙点灯	電波強度:普通
	橙点滅	電波強度:弱い
	消灯	電波範囲外
WPS	点灯※2	WPS接続完了
	点滅※2	WPS接続設定中
	消灯	通常使用状態
LAN(1、2)	点灯	LANポートリンク時
	点滅	LANポート通信中
	消灯	LANポートリンクなし

※1 電波周波数帯域の出荷時設定:[5GHz帯]
※2 青色の場合:電波周波数帯域の設定 [5GHz帯]
緑色の場合:電波周波数帯域の設定 [2.4GHz帯]

ネットワーク対応テレビやレコーダーを無線LANでつなげます

イメージ図

例 テレビをネットにつなぎ、「ひかりTV」や「アクトビラ」を見る

テレビやレコーダーに録画した番組を他の部屋で見たり、その他いろいろな使い方について詳しくは弊社ホームページの製品ページをご覧ください。

➡ http://www.iodata.jp/
より製品型番を検索してください。

Step1 親機を設置します

インターネット

1. 親機/子機切替スイッチが[親]になっていることを**確認**
2. ルーター付モデム等の電源が**入って**いることを**確認**
3. **LANケーブル**を親機の**LANポート**(1、2いずれか)とルーター付モデムやネットワーク対応機器のLANポートに**接続**
   ※ネットワーク対応機器は2台まで接続できます。ハブを利用すれば最大4台まで接続できます。
4. 添付の**ACアダプター**を**接続**

ルーター付モデム等

Step2 子機を設置します

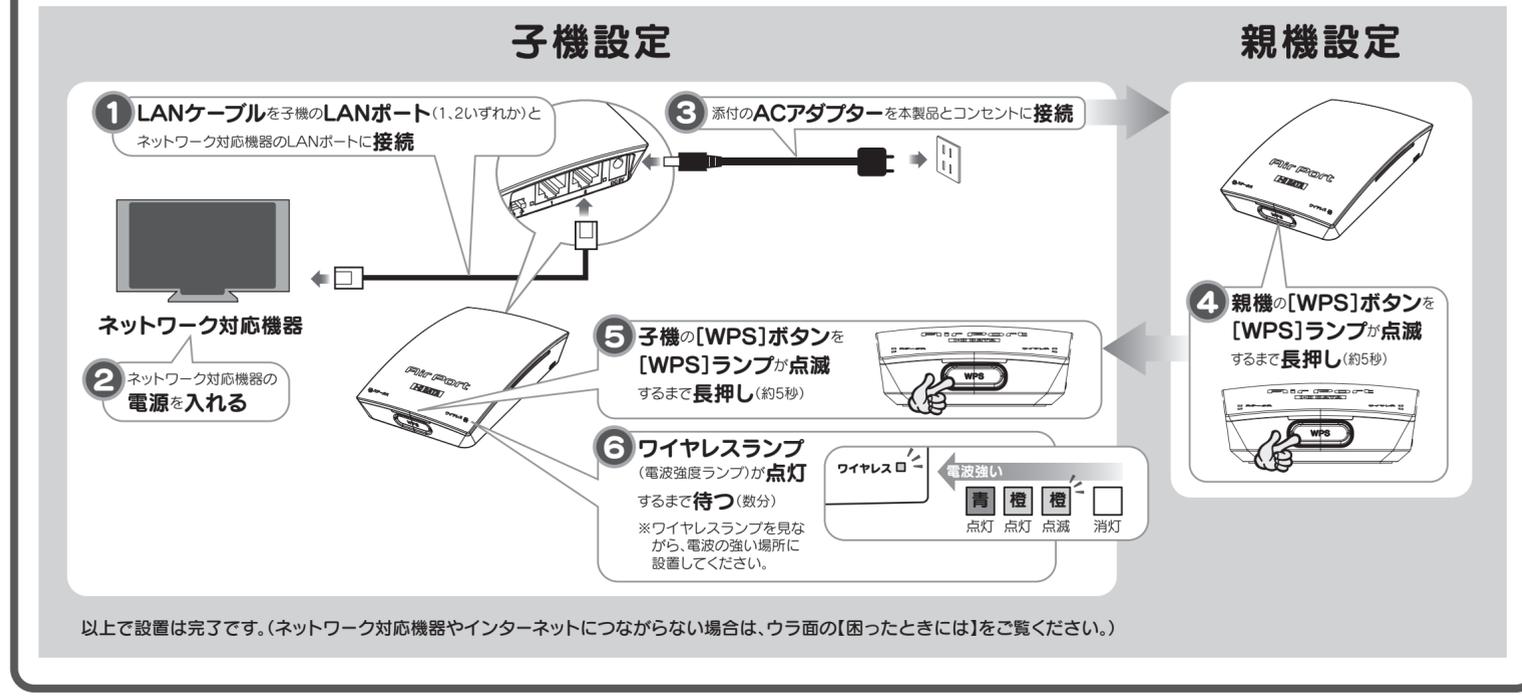
1. 親機/子機切替スイッチが[子]になっていることを**確認**
2. **LANケーブル**を子機の**LANポート**(1、2いずれか)とネットワーク対応機器のLANポートに**接続**
   ※ネットワーク対応機器は2台まで接続できます。ハブを利用すれば最大4台まで接続できます。
3. ネットワーク対応機器の**電源**を**入れる**
4. 添付の**ACアダプター**を**接続**
5. **ワイヤレスランプ**(電波強度ランプ)を**確認**
   ※ワイヤレスランプを見ながら、電波の強い場所に設置してください。

ネットワーク対応機器

ワイヤレス
電波強い
青 点灯 / 橙 点灯 / 橙 点滅 / 消灯

以上で設置は完了です。(ネットワーク対応機器やインターネットにつながらない場合はウラ面の【困ったときには】をご覧ください。)

子機を追加で設置する場合(子機単品「WN-AG300EA」をお買い上げいただいた方がおこなう作業です)

以上で設置は完了です。(ネットワーク対応機器やインターネットにつながらない場合は、ウラ面の【困ったときには】をご覧ください。)

ネットワーク対応機器を複数台接続した場合のご注意

● **スマートフォンアプリ対応テレビをアプリで操作する場合、またはWoL機能によるリモート起動をご利用の場合、子機に2台の「ネットワーク対応機器」が接続されていると、ご利用いただけない場合があります。「ネットワーク対応機器」を1台にして、以下の手順で接続しなおしてください。**

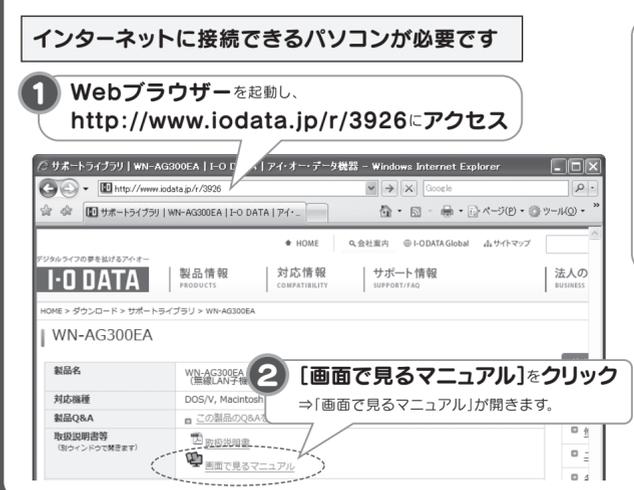
①「子機」の電源を切ります。
②「ネットワーク対応機器」を1台のみ、「子機」とLANケーブルで接続します。
③「ネットワーク対応機器」の電源を先に入れます。
④最後に、「子機」の電源を入れます。

● **子機に接続するネットワーク機器の台数を変更する場合、以下の手順で接続しなおしてください。**

①「子機」の電源を切ります。
②つなぎたい「ネットワーク対応機器」と「子機」をLAN ケーブルで接続します。
③先に「ネットワーク対応機器」の電源を入れます。
④「子機」の電源を入れます。

画面で見るマニュアルの開き方

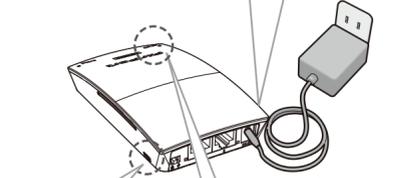
インターネットに接続できるパソコンが必要です

1. **Webブラウザー**を起動し、**http://www.iodata.jp/r/3926**に**アクセス**
2. **[画面で見るマニュアル]**を**クリック**
   ⇒「画面で見るマニュアル」が開きます。

「画面で見るマニュアル」では以下の操作手順や設定、FAQなどについて説明しています。

- ●ファームウェアの更新をする
- ●セキュリティ方式(暗号化設定)を変更する
- ●300/450Mbps(規格値)の通信速度を利用する
- ●2.4GHz帯に設定する
- ●パソコンにつなげる
- ●ゲーム機やスマートフォンにつなげる
- ●IPアドレスの設定
- ●WoL機能を利用する など

出荷時設定に戻す場合

以下の操作で本製品を出荷時設定に戻すことができます。
IPアドレスを忘れた場合等、必要な際におこなってください。

1 出荷時設定に戻す**前に**以下の**準備**をします
●本製品を使っていないことを確認
●LANケーブルをすべて取り外す
●ACアダプターのみつなげておく

2 **細いピン**などで**[初期化]ボタン**を**押し、[ステータス]ランプ**が**点滅**したら**離す**

3 **[ステータス]ランプ**が**点灯**にかわるまで**待つ**(数分)

以上で出荷時設定に戻りました。

※出荷時設定に戻す場合は、親機・子機ともに出荷時設定に戻してください。
また、親機・子機ともに出荷時設定に戻した後、再度接続設定が必要です。オモテ面【子機を追加で設置する】を参照し、接続設定をおこなってください。

困ったときには

「画面で見るマニュアル」にもQ&Aを掲載しています。併せてご覧ください。

インターネットに接続できない

A 電波の状態が悪い

▶親機と子機の間の距離を短くしてください。
▶親機と子機の間に障害物がある場合は、取り除いて見通しをよくしてください。
▶電子レンジの使用をやめてみてください。

A 正しく接続されていない

▶「親機とルーターまたはルーター内蔵モデム」「子機とTVなどのネットワーク対応機器」がそれぞれLANケーブルで正しく接続されているか再確認してください。
▶接続している各機器の電源を一度OFFにし、再度ONにしなおしてみてください。

A ネットワーク機器のIPアドレスの設定が正しくない

▶接続するパソコンなどのネットワーク対応機器のIPアドレスが自動取得(DHCP)の場合、電源を入れる順番を以下の順にしてください。
①DHCPサーバーとなる機器(ルーター等)
②ネットワーク対応機器
▶接続するネットワーク対応機器のIPアドレスが固定の場合は、本製品のIPアドレスと同じクラスのIPアドレスを設定してください。

A Webブラウザーがダイヤルアップする設定になっている

(パソコンの場合のみ)
▶以下の手順で「ダイヤルしない」設定にしてください。
①Internet Explorerの[ツール]-[インターネットオプション]の順にクリック
②[接続]タブをクリック
③[ダイヤルしない]にチェックをつけ、[OK]ボタンをクリック
※クリックできない状態の場合は設定不要です。

ランプが点灯しない

Q [LAN]ランプが点灯しない

▶LANケーブルの接続および、接続した機器の電源が入っていることを確認してください。
▶別のLANケーブルに差し替えてみてください。

Q [ステータス]ランプが点灯しない

▶ACアダプターの接続を確認してください。

Q 子機の[ワイヤレス]ランプが点灯しない

▶オモテ面【子機を追加で設置する】を参照し、接続設定しなおしてください。

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼ 警告および注意表示

⚠ 危険	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険が生じます。
⚠ 警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼ 絵記号の意味

⊘	禁止
❗	指示を守る

⚠ 危険

本製品を修理・分解・改造しない
火災や感電、やけど、故障の原因となります。

⚠ 警告

ぬらしたり、水気の多い場所で使用しない
火災・感電の原因となります。
・お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
・水の入ったもの(コップ、花びんなど)を上に置かない。

本製品を乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込み、窒息する恐れがあります。
万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。

故障や異常のまま、通電しない
本製品に故障や異常がある場合は、必ずパソコンから取り外し、コンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器等の近くでは使用しない
電波によりペースメーカー等の動作に影響を与える恐れがあります。

本製品を病院内で使用しない
医療機器の誤動作の原因になることがあります。

本製品を飛行機の中で使用しない
飛行機の計器などの誤動作の原因になります。
飛行機の中ではコンピュータから本製品を取り外してください。

ACアダプターや電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない
電源コードから発煙したり火災の原因になります。

AC100V(50/60Hz)以外のコンセントにつながない
発熱、火災の恐れがあります。

電源コードにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない
火災、感電の原因になります。

ゆるいコンセントにつながない
電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因になります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない
電源プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張ると電源コードに傷が付き、火災や感電の原因になります。

添付のACアダプターや電源コードは、他の機器につながない
添付の電源コードおよびACアダプターは本製品専用です。他の機器につなぐと、火災や感電の原因になります。

じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない
火災の原因になります。

熱器具のそばに配線しない
電源コード被覆が破れ、火災や感電、やけどの原因になります。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く
そのまま使うと火災・感電の原因になります。

⚠ 注意

本製品を踏まない
破損し、ケガの原因となります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

長時間にわたり一定箇所に触れ続けない
本製品を一定時間使用すると、本製品が熱く感じる場合があります。
安全設定機関の仕様に準拠するように設計されていますので、適切な使用環境で安全面での問題は起こりません。
ただし、長時間にわたり一定箇所に触れ続けると、低温やけどを起こす恐れがあります。

人が通行する場所に配線しない
足を引っ掛けると、けがの原因になります。

使用上の注意

本製品を使用する上で、以下の注意をご確認ください。

●以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。近くでは使用しないでください。
○ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器等
○工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)
○特定小電力無線局(免許を要しない無線局)
上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。
そのため、通信ができなくなったり、速度が遅くなったりする場合があります。

●携帯電話、PHS、テレビ、ラジオを、本製品の近くではできるだけ使用しないでください。
携帯電話、PHS、テレビ、ラジオ等は、無線LANとは異なる電波の周波数帯を使用していますが本製品を含む無線LAN製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。

●間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信に影響を及ぼす場合があります。
本製品で使用している電波は、通常の家屋で使用されている木材やガラス等は通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。
ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。
同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリート等が使用されていると通信できません。

●本製品の電源を入れ直す場合は、電源を切った後、5秒以上待ってから電源を入れてください。

●本製品の5GHz帯は、屋外で使用しないでください。
本製品を屋外で使用する場合は、2.4GHz帯をご利用ください。法令により、5GHz帯のW52(36,40,44,48ch)、W53(52,56,60,64ch)を屋外で使用することは禁止されています。
5GHz帯のW56(100～140ch)は法令により屋外での使用が可能ですが、本製品でW56のチャンネルを指定した場合でも、レーダー波を検出した場合は、屋外で使用が禁止されているW52やW53へ自動的にチャンネルが変更される場合があります。そのため屋外で使用する必要がある場合は、2.4GHz帯をご利用ください。
(2.4GHz帯への変更方法は「画面で見るマニュアル」をご覧ください。)

●5GHz帯で使用するチャネルは36,40,44,48ch(W52)と52,56,60,64ch(W53)と100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch(W56)です。34,38,42,46ch(J52)の装置との通信はできません。

IEEE802.11b/g	W52(5.2GHz帯/36,40,44,48ch)
IEEE802.11a/n	W53(5.3GHz帯/52,56,60,64ch)
~~J52~~ W52 W53 W56	W56(5.6GHz帯/100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch)が利用できます。

●W53(52,56,60,64ch)またはW56(100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch)を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
・各チャネルの通信開始前に、1分間のレーダー波検出をおこないますので、その間は通信をおこなえません。
・通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。

●IEEE802.11n(2.4GHz)、IEEE802.11b、IEEE802.11gで通信利用時は、2.4GHz全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式としてDD-SS方式および、OFDM方式を採用しており、与干渉距離は40mです。

2.4　:2.4GHz帯を使用する無線設備を示す
DS/OF:DS-SS方式およびOFDM方式を示す
4　:想定される与干渉距離が40m以下であることを示す
■■■　:全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

使用ソフトウェアについて

本製品には、GNU General Public License Version2. June 1991に基づいた、ソフトウェアが含まれています。
変更済みGPL対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、弊社のホームページにてご確認ください。
これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作者は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。

本製品の廃棄について

本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

(お客様の権利(プライバシー保護)に関する重要な事項です!)

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
・IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
・メールの内容
等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
・個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
・傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
・コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)
などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
無線LAN機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。
従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LANカードや無線LANアクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。
なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。
セキュリティの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。
※ セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、株式会社アイ・オー・データ機器は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定(以下「本保証規定」といいます。)に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品(以下「本製品」といいます。)の無料での修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容

取扱説明書(本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。)等にしたがった正常な使用状態で故障した場合、お買い上げ日が記載されたレシートや納品書をご提示いただく事により、お買い上げ時より12ヶ月、無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2 保証対象

保証の対象となるのは本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外

以下の場合は保証の対象とはなりません。
1) レシートや納品書に記載されたご購入日から12ヶ月の保証期間が経過した場合
2) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
3) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
4) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
5) 取扱説明書等に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
6) 合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
7) 弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
8) 弊社が寿命に達したと判断した場合
9) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
10)その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

4 修理

1) 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品と本製品のお買い上げ日が記載されたレシートや納品書等を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
2) 発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
3) 本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
4) 弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

5 免責

1) 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
2) 弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
3) 本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

6 保証有効範囲

弊社は、日本国内のみにおいて本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。
Our company provides the service under this warranty only in Japan.

アフターサービスについて

ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

お問い合わせについて

必ず以下の内容をご確認ください

左記[困ったときには]を参照

弊社サポートページのQ&Aを参照
➡ http://www.iodata.jp/support/

最新のドライバーソフト等をダウンロード
➡ http://www.iodata.jp/lib/

それでも解決できない場合は、サポートセンターへ

電話: **050-3116-3014**
※受付時間 9:00～17:00 月～日曜日(年末年始・夏季休業期間をのぞく)
FAX: **076-260-3360**
インターネット: **http://www.iodata.jp/support/**

< ご用意いただく情報 > 製品名 / パソコンの型番 / OS(Windows、Mac OS)

修理について

修理をご依頼される場合は、以下の要領でお送りください。

※メモの代わりにWeb掲載の修理依頼書を印刷してご利用いただくと便利です。

梱包は厳重に!
弊社到着までに破損した場合、有料修理となる場合があります。

紛失をさける為 **宅配便** でお送りください。

**〒920-8513
石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社 アイ・オー・データ機器
修理センター 宛**

●送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担とさせていただいております。
●有料修理となった場合は先に見積をご案内いたします。(見積無料)金額のご了承をいただいてから、修理をおこないます。
●お客様が貼られたシール等は、修理時に失われる場合があります。
●保証内容については、保証規定に記載されています。
●修理品をお送りになる前に製品名とシリアル番号(S/N)を控えておいてください。

修理について詳しくは…
http://www.iodata.jp/support/after/

【ご注意】

2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for anydamages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan andprovide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器

本社サポートセンター: 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ: http://www.iodata.jp/support/